



# 喜多流 自主公演

平成二十九年 十月

平成29年 10月22日(日)

12:00 開演 (11:00 開場)

## 十四世喜多六平太記念能楽堂

料金:全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円

C席(1階棟敷席) 6,500円 D席(2階席) 6,500円

学生席(2階席) 2,500円 (25歳以下、要学生証提示)

- ・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。お気軽にご参加ください。
- ・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催：公益財団法人 十四世六平太記念財団

協力：喜多流職分会

後援：品川区、品川区教育委員会

助成：文化庁(平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業)



大 井 松

会 筒 虫

友 枝 内 栗  
雄 人 田 谷

雄 人 安 充  
雄 人 信 雄

### チケット予約購入のご案内

#### インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>  
(24時間対応、要登録・無料)

#### 【お受取り・お支払い】

##### ① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

##### ② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

#### 電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813  
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

#### 【お受取り・お支払い】

##### ① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

##### ② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

##### ③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

#### 窓口

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813  
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

#### 【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。  
ご予約の際ご案内いたします。  
※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

### ご注意

- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・ロビー・見所でのご飲食はできません。2階ラウンジをご利用ください。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。コインロッカーもご利用ください。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

### 喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

- ◆ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な年間優待券です。
- ◆お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分でも承ります。
- ◆ご観能の際は別途、座席指定券をご予約ください。
  - ・追加料金はかかりません。
  - ・ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。
  - ・年間優待券のみでの観能はできません。
  - ・ご入場の際は、年間優待券と座席指定券をご提示いただきます。
- ◆ご利用は、表記年度中(4月～3月)の喜多流自主公演のみ有効です。青年能には使用できません。

### 自主公演観客席御案内



S席	9,000円	C席(1階棟敷席)	6,500円
A席	8,000円	D席(2階席)	6,500円
B席	7,000円	学生席(2階席)	2,500円

### 会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。  
目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。  
※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

### 十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999

喜多能楽堂ホームページ: <http://kita-noh.com/>

能

シテ連・里人 佐藤 陽  
後シテ・里人の霊 栗谷充雄  
前シテ・里人

### 松虫

ワキ市人 村瀬 慧

大鼓 大倉慶乃助  
小鼓 森 貴史 笛 栗林祐輔

アイ・阿倍野の里人 大藏基誠

後見 塩津哲生  
栗谷浩之

地謡 狩野祐一 谷 大作  
塩津圭介 大村 定  
大島輝久 栗谷能夫  
谷 友矩 金子敬一郎

狂言

### 酔 薑

シテ 酔売り 善竹十郎

アト 薑売り 大藏教義

休憩(二十分)

能

後シテ・紀有常の娘の霊  
前シテ・里女 内田安信

### 井 筒

ワキ・旅僧 江崎欽次朗

大鼓 柿原崇志  
小鼓 観世新九郎 笛 藤田貴寛

アイ・標本の里人 大藏彌太郎

後見 香川靖嗣  
松井 彬

地謡 金子龍晟 佐々木多門  
佐藤寛泰 栗谷明生  
友枝真也 出雲康雅  
高林昌司 内田成信

休憩(十分)

仕舞

### 蟬 丸

佐々木宗生

地謡 佐々木多門  
内田成信  
大島政允  
栗谷浩之

能

シテ連・帝釈天 塩津圭介  
後シテ・天狗 友枝雄人  
前シテ・山伏

### 大 会

ワキ 比叡山の僧正 福王和幸

大鼓 柿原光博 太鼓 桜井 均  
小鼓 田邊恭資 笛 槻宅 聡

アイ・愛宕山の木の葉天狗 大藏吉次郎  
アイ・愛宕山の木の葉天狗 善竹十郎  
アイ・愛宕山の木の葉天狗 宮本 昇  
アイ・愛宕山の木の葉天狗 上田圭輔

後見 友枝昭世  
佐藤章雄

地謡 友枝雄太郎 高林呻二  
佐藤 陽 長島 茂  
栗谷浩之 中村邦生  
谷 友矩 狩野了一

附祝言

終了予定時刻 五時頃

#### 松虫(まつむし)

摂津国阿倍野で酒を売る市人の元へ、いつもやって来ては酒宴を催す男達がいたが、素性がしれないので名前を尋ねようと思っていた。しばらくすると、男達がやって来て相変わらず酒宴を催し、白楽天の詩句に興じたりしている。その一人の男が「秋の松虫の音に友を偲ぶ」と言ったので、その言葉の意味を尋ねる。昔、この阿倍野の松原を二人の男が通りがかった。その一人の友が松虫の音にひかれて草むらに入ってしまったが、待てども帰ってこない。心配して行ってみると、どうしたわけか草むらで死んでいた。実はその時の連れが自分だと打ち明けて消えて行く。(中人) 松風が寒く吹く阿倍野の原で、市人が回向の為に読経していると、男の亡霊が現れ、昔の友を偲び秋の虫の音に興じて舞を舞うが、夜明けとともにその姿は消え失せ、草原には虫の音が残るばかりだった。(約八十分)

#### 酔薑(すはじかみ)

都へ商売に行く途中、薑売りと酔売りが出会う。薑売りは自分に礼を尽くさなければ商売させないと言い、薑の由緒正しさを語る。酔売りの負けじと由緒を語るので決着がつかない。そこまでの道中、秀句(洒落)を言い合って勝負をつけることにするが、なかなか勝負がつかず、ついには...。中世の行商人を主人公にした作品。

お互いの秀句を楽しむ雰囲気とテンポのよいかけあいは、見どころ、聞きどころです。薑とは生姜のことだが昔は山椒のことを指しました。(約二十分)

#### 井筒(いづつ)

旅の僧が大和国にある在原寺を訪れると、ひとりの里女が現れて荒れた古塚に水を手向ける。僧が尋ねると、この寺は在原業平の寺であるといい、昔語りをする。井戸のまわりで遊んでいた幼い在原業平と紀有常の娘が歌を詠み合い夫婦になったこと。また業平が高安の里に他に女をつくり通っていたが、有常の娘は通い路の身の無事を祈る歌を詠んだことで外の女との契りがなくなったことなどを語る。そして自分がその紀有常の娘だと明かして姿を消す。(中人) 僧は夫婦のことを里人に尋ね、夢に現れることを期待して在原寺で夜を明かす。やがて、有常の娘が業平の形見の装束を身につけて現れ、業平を偲んで舞を舞い、水鏡にその姿を映して夫の面影を懐かしむが、夜明けとともに僧の夢も覚めるのであった。(約百十分)

#### 大会(だいえ)

西塔に住む僧が都へ出て帰る途中で、五・六人の子供達が何かを開んでいた。よく見ると、大きな鷹を縛り上げている。訳を聞くと殺して羽を取るのだという。僧は慈悲の心から子供達に扇を与え、鷹を逃がしてやった。(この段、間狂言の語り) しばらくすると、僧の庵室に山伏に姿を変えた天狗が尋ねて来た。じつは先程助けた鷹は天狗の化身であった。天狗は命を助けられたお礼に、僧の望みを叶えるという。僧は、釈迦が靈鷲山で説法した有様を拝みたいと望む。そこで天狗は引き受けるが真似事なので決して信心を起こすなと念をおして消える。(中人) 僧が目を閉じて待っていると音楽が響き、あたりは靈鷲山となり釈迦如来が現れ、僧に大法会の様子を見せる。僧は天狗との約束も忘れ、思わず合掌をしてみよう。すると、たちまちあたりが鳴動して帝釈天が現れる。帝釈天は天狗の幻術を破り、信者をたぶらかしたと天狗を散々にこらしめる。そして天狗は命からがら深谷の岩洞に消え去っていった。(約六十分)

### 平成二十九年十一月自主公演番組予告

平成二十九年十一月二十六日(日) 正午始  
十四世喜多平太記念能楽堂

蟻通 栗谷明生

六浦 出雲康雅

小鍛冶 大島輝久

白頭